

令和 7 年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	先端統合生体制御学サマープログラム：大学院合同国際実習（牛窓）		
実習内容	広い意味での生理学分野で、実習生自らが課題を設定して研究に取り組む。必要な援助は与えられるが、自発的に行うことに重点が置かれる。海洋動物、メダカ、ラット等の生物材料、及び実験所の施設、備品、消耗品（下記 Web Site を参考）が使用できるが、事前に問い合わせること。研究成果については、できるだけ学会、論文等で発表する。岡山大学・金沢大学・東京大学・奈良女子大学・近畿大学・三重大学・島根大学・キール大学・ソルボンヌ大学/ロスコフ生物学研究所・ハーバード大学等の教職員が分担して、それぞれの専門分野に関する講義・研究指導をする。		
実習内容キーワード	海洋動物、生物多様性、ホルモン、適応、生殖、行動、比較生理		
担当教員氏名・所属・役職名	坂本 竜哉・岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域・教授、濱田 麻友子・同・教授、安齋 賢・同・教授、秋山 貞・同・助教、中村 遼・同・助教、安東 宏徳・新潟大学理学部臨海実験所・教授、鈴木 信雄・金沢大学環日本海域環境研究センター・教授、関口 俊男・同・准教授、吉田 真明・島根大学隠岐臨海実験所・准教授		
協力教員氏名・所属・役職名	Jörn Schmidt・キール大学・研究員(UNESCO Chair)、Xavier Bailly・ロスコフ生物学研究所員、Darren T. Lerner・ハワイ大学 Sea Grant・所長、Yi-Jyun Luo・中央研究院・助研究員、Yung-Che Tseng・同・副研究員、Matt Vijayan・カルガリー大学・教授、Shingo Kajimura・ハーバード大学・教授、Cunming Duan・ミシガン大学・教授、Robert Dore・デンバー大学・教授、Ciaran Shaughnessy・オクラホマ州立大学・助教授、Ramji Bhandari・ミズーリ大学・准教授、竹内 秀明・東北大学生命科学研究科・教授、梶山 十和子・同・助教、松田 恒平・富山大学理工学研究部・教授、兵藤 晋・東京大学大気海洋研究所・所長、高木 互・同・助教、海部 健三・中央大学法学部・准教授、塚田 岳大・東邦大学理学部生物分子科学科・准教授、矢田 崇・国立研究開発法人水産研究・教育機構・グループ長、吉原 基二郎・国立研究開発法人情報通信研究機構 ICT・総括研究員、大平 剛・神奈川大学理学部生物科学科・教授、高浪 景子・奈良女子大学・准教授、山下 敦子・大阪大学蛋白質研究所・教授、小林 靖尚・近畿大学農学部・准教授、筒井 直昭・三重大学生物資源学研究所・教授、大沼 亮・神戸大学内海域環境教育研究センター・講師、田中 祥貴・瀬戸内市プロジェクトリーダー、坂本 浩隆・岡山大学環境生命自然科学学域・教授、御輿 真穂・同・准教授、越智 拓海・同・准教授、佐藤 伸・同・教授、佐藤 慧太・川崎医科大学解剖学教室・助教、山口 陽子・島根大学生物資源学部・助教、荻野 由紀子・九州大学農学研究院・准教授、佐藤 矩行・OIST・教授		
対象学生・学年	大学院生中心・学部 3 年生以上可	開講期間	各自の課題にあわせ、夏期に随時
開講大学・施設名	岡山大学理学部附属牛窓臨海実験所、あるいは新潟大臨海、金沢大臨海		
施設の住所	〒701-4303 瀬戸内市牛窓町鹿忍 130-17 ほか		
電話	0869-34-5210	F a x	0869-34-5211
e-mail	sc19412@s.okayama-u.ac.jp (コーディネーター)	Web Site	http://www.science.okayama-u.ac.jp/~rinkai/ushi.htm
交通案内	牛窓の場合〔JR〕岡山駅から赤穂線、25 分、邑久駅下車。牛窓行きバス 20 分、紺の浦（役場前）下車。ヨットハーバー方面へ向かい海沿い徒歩 20 分。〔車〕ブルーラインに入り、邑久インターから表示板に従って牛窓ヨットハーバーへ。ハーバー前を通過後わずか。場合によっては連絡すれば最寄りの駅等まで迎えに行く。		
費用	食費等約 15,000 円		
授業科目名	臨海実習		
単位数	2 単位（岡大自然科学以外は認定できないが受講証発行の予定）	定員数	15 名程度
授業料の徴収について	不徴収		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	研究計画、指導教員などによる推薦を考慮して選考		
選抜結果連絡法	必要な携行物等とともに e-mail や郵便などで連絡する。		